

令和5年度第3回横須賀市自殺対策推進協議会会議録

- ・ 日 時：令和6年1月23日（火）10時30分～11時30分
- ・ 場 所：横須賀市保健所第1研修室

- ・ 出席者：生田悟、奥原孝幸、恩田一弘、笈修一、樫福宏征、君島富美江、
金原健一郎、工藤幸久、後藤圭一、玉井秀直、土田賢一、中島直行、
平井成花、平岩伸康、藤尾聡允、前島光、渡邊春彦、渡辺大雄
（敬称略、五十音順）
欠席 5名

- ・ 事務局：民生局健康部 保健所保健予防課長： 小菅俊彦
民生局健康部 保健所保健予防課主査： 増田浩子
民生局健康部 保健所保健予防課主任： 菅祐太郎
民生局健康部 保健所保健予防課主任： 鍛治美和子

・ 次第

- (1) 第2次横須賀市自殺対策計画（案）について
 - ・ パブリック・コメント手続（意見募集）結果について（報告）
 - ・ 横須賀市自殺対策計画について
 - パブリック・コメント手続以降の変更点
 - 第4章、第5章、資料の追加
 - SDGsの取り組みの追加
 - 自殺未遂者支援に関するコラムの追加
 - ・ その他
 - ・ 今後のスケジュールについて

(2) 令和5年の自殺の状況について

1 開会

- ・ 傍聴2名の報告。
- ・ 欠席構成員について。座長欠席により議事進行は奥原副座長が行う。

2 議事（議事進行：奥原副座長）

(1) 第2次横須賀市自殺対策計画（案）について

〈奥原副座長〉

パブリック・コメント手続（意見募集）結果について（報告）と横須賀市自殺対策計画の2点について、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

※事務局から資料1を用いて説明。

11月から12月にかけて行ったパブリック・コメントの手続きの結果について、既に公表を行っているが意見なしという結果となったため、パブリック・コメントに提示した案に基づいて、成案に仕上げていく。

次に第2回自殺対策推進協議会で、検討事項としてパブリック・コメント手続きに提示した案に関する修正点を報告する。

- ・資料2の案の3ページと4ページの数値目標と理念について、第2回の時点の資料から、理念と数値目標の順番を入れ替え、理念実現に向けた計画期間中の数値目標という位置づけに構成を変更している。4ページの具体的な数値目標については、現行計画の自殺死亡率を毎年3%減少させていくという方針を引き継ぎ、令和9年までに12.2以下に設定した。なお、単年毎の変動があることを考慮し、計画期間中の5年平均の数値も確認しながら、自殺者の傾向を把握していくこととした。
- ・44ページの「生きづらさを抱えている、抱える可能性のある人への支援」について、構成員の意見を踏まえ「生きづらさを抱えている、抱える可能性のある人への支援」に変更。
- ・42ページについて性犯罪被害の相談窓口について案内をした方がいいという意見を踏まえ、関係課の取り組みについて計画に盛り込んだ。
- ・46ページについて、がんや健康面で悩まれている方への対策として健康管理支援課の事業を追加した。以上がパブリック・コメントに出した案である。

次に、パブリック・コメント手続き以降の変更点について5点を説明する。

- ・83ページ第4章「生きる支援関連施策」で、庁内で行っている関連事業を一覧として掲載した。地域の事業についても掲載した。
- ・110ページ「自殺対策の推進体制」について、市長をトップとした自殺対策推進本部と推進課長会議、推進協議会とで横須賀市の体制として取り組んでいくこと、会議のメンバーについての記載を追加した。
- ・113ページ以降は関連資料として、会議の経過や関連法規の内容を追加した。
- ・5ページは、今回の計画ではSDGsの達成を意識した取り組みとして、事務局内で該当する施策を確認し、37ページ以降の各施策に該当するマークをつけた。
- ・78ページにはコラムを付け、ここで記載をしているのは、横須賀市のSNSを活用した相談支援体制について、実際の支援事例を本人の了解をいただいて、個人情報に配慮した上で紹介している。

また、コラムの50ページに、街頭キャンペーンの紹介をする予定で、昨年9月に行っ

たキャンペーンについて、掲載したいと考えている。60 ページにも、協議会の意見の中で、PMSで悩まれている方もいるという話が出たことからPMSに関するコラムを追加し、最終的な仕上げに入る予定である。

〈奥原副座長〉

今の説明について、皆様から意見をいただいて、今日は合意を図りたいと考えている。

初めの説明の数値目標について何か意見はあるか。平均値を追いながら最終的な数値を目指すということでこのような形になっているが、特に意見がなければこの形で進める。

加えて、コラムの追加について、意見はあるか。

〈寛構成員〉

分かり易くて、大変良い事だと思う。あとSDGsのマークを入れたことでより分かりやすくなったと思う。

〈平井構成員〉

コラムがあると具体的な支援が伝わって良いと思う。SDGsのマークについてモノクロになった時に見えづらいと思うので、調整をお願いしたい。

〈奥原副座長〉

後半の部分に資料を追加しているが、何か意見はあるか。他にも全体を見て意見があればいただきたい。特に意見がなければ、これで了解いただくということによろしいか。

※全構成員意見なし

了解をいただいたということで、こういった形でまとめていく。

続いて議事のその他と今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いしたい。

〈事務局〉

その他について、2点ご意見をうかがいたい。

1点目は表紙案について。(モニターに表紙案を提示。) 1つ目の案はブルーを基調としたもの。もう1つはレインボーの鮮やかな感じのものであるが、皆様の意見を踏まえて決定したいと考えている。

2点目は自殺対策計画に関係部署の連絡先を掲載する点について。当初は掲載を考えていたが、庁内の担当課は毎年変更する可能性があり、毎年差し替えが必要なこと等を踏まえ、すべての部署の連絡先を掲載する方法をとるのではなく、計画書の生きる支援関連施策の最後に市のホームページや問い合わせ先を提示する方法にしてはどうかと考えている。

また、今後のスケジュールについて説明したい。(資料3を用いて説明。)

〈奥原副座長〉

表紙について2つの提案があるが、どちらが良いか挙手願いたい。

(※2案それぞれ9人ずつ挙手)

どちらも同数程度であり、最終決定は事務局に委ねたいが、意見のある方はお願いしたい。

〈藤尾構成員〉

心理学的にブルーライトは人を落ち着かせるという効果があると聞いたので、自殺対策計画の表紙としてふさわしいのではないかと思った。

〈平井構成員〉

レインボーの方はとても可愛いですが、タイトルが鮮やかさで負けてしまっていて、タイトルに目が行かない。文字に白い縁取りを入れた方が良いのではないか。

〈前島構成員〉

字体についてユニバーサルデザインフォントにすると見やすくなると思う。

〈事務局〉

先程の挙手は9：9で同数だったが、欠席の方もいるので、欠席の方に確認して、事務局の方で検討したいと思う。

〈奥原副座長〉

連絡先一覧については、事務局の説明があったがどうか。

※全構成員意見なし

連絡先も毎年変更される可能性があるため、ホームページを参照していただくか、市役所の方へ連絡してもらおうという形で対応することが現実的だと思うので、そういう形でお願いしたい。

〈工藤構成員〉

ホームページに誘導という話であったが、QRコードやLINEコードを付けるとアクセスしやすいと思うのでお願いしたい。

〈奥原副座長〉

他に意見がなければ、このような形で進める。

次に（２）令和５年の自殺の状況について、事務局より説明をお願いします。

（２）令和５年の自殺の状況について

〈事務局〉

※事務局から資料４を用いて説明。

全国と横須賀市の自殺の状況ということで、（１）は警察庁の自殺統計による全国の自殺者数の推移で11月末までの速報の集計となり、確定値ではないが、令和５年を見ると、男性は毎月1,400人以上、女性は毎月1,000人以上の方が自殺でなくなっている状況で、そういったことを踏まえると、昨年度を上回る数値で推移している。

下は横須賀市の自殺の状況で、本市では男性が26名と例年に比べて少なく、反対に女性が24名と増えており、例年とは異なる状況となっている。女性の自殺対策は重点施策として力を入れているところだが、今後、状況の把握や課題分析等を行っていく必要がある。

４ 横須賀市の項目別の自殺者数の推移（１）年代別自殺者数を見ると、例年に比べると50代の自殺者が令和５年度は増え、70代は減っている。若い世代は減少しているものの、依然として尊い命が自殺で失われている状況がある。また、令和５年は特に上半期の自殺者が増加した。

〈奥原副座長〉

今の説明について何か意見はあるか。

横須賀市では女性の自殺が増えているということであったが、分析等で考えられる要因はあるのか。

〈事務局〉

速報値であるため、具体的に要因と言われると難しく、現時点での細かい分析は出来ていない。通常男性と女性の比率は7：3であるが、令和５年度は男性が26名、女性が24名なので、女性の自殺者が増え、全体の自殺者数も押し上げている。

令和２年に全国的にも本市でも女性の自殺が増え、それ以降は本市では比較的減っていたが、令和５年にまた増加したということで、そのあたりも分析し、女性に対する取り組みは強化しなければならないと考えている。

〈奥原副座長〉

社会情勢との連動があるのか、そのあたりも見えていかなければならない。

〈玉井構成員〉

1 (2) 横須賀市の自殺者の推移について、計画素案の7ページの数字と差異があるのは何故か。

〈事務局〉

自殺の統計は2種類あり、厚生労働省が行っている人口動態統計と、警察庁が把握している警察庁の自殺統計がある。計画の方では人口動態統計を載せている。今回警察庁統計の方を示したのは、人口動態統計の発表の時期が遅いため、一旦現状を知るという意味で、警察庁の自殺統計の速報値で示した。

〈玉井構成員〉

本来は人口動態統計を使うのが一般的なのか。

〈事務局〉

目標値に関しては、国も県も人口動態統計を使っている。ただ細かい分析が出てくるのは、警察庁の自殺統計になるので、分析をしようと思えば警察庁統計を使う。

また、各統計は分母となる数字が異なっており、人口動態は推計人口、自殺統計は住民基本台帳の統計を使うため必然的に自殺率の数値も異なる。

〈奥原副座長〉

他に意見はないか。

特にないようなので、本日の議事は終了とする。

3 その他

- ・令和6年度の自殺対策推進協議会は2回予定している。
- ・3月15日に自殺予防街頭キャンペーンを実施する。参加できる方は、事務局まで知らせしてほしい。併せて、自殺予防キャンペーンで保健所及び本庁舎に掲示するメッセージツリーに使用するメッセージカードの提出もお願いしたい。

以上